

県職員らが手作り LINEで販売

琵琶湖を守る思い スタンプにのせて

収益金は保全活動に寄付



流域治水推進室の職員が県のイメージキャラクターをLINEスタンプで販売しようと計画し、琵琶湖保全活動の支援や提言に取り組み組織「マザーレイクフォーラム」に連携を呼びかけた。「琵琶湖を守るのなら下水道を忘れてもらっては困る」と下水道課も参加を表明し、チームを結成す

県職員を中心とするグループ「チームマザーレイク」が無料通信アプリ「LINE」向けに、琵琶湖の保全にちなんだスタンプを作った。水滴や鮎などをモチーフにした「ゆるキャラ」風のスタンプで、3月の販売スタートからの販売個数は約60個と知名度はまだまだ「名乗っても誰も知らない3キャラ」だが、琵琶湖への思いは誰にも負けません」と、心意気はゆるくない？

ることとなった。日ごろから資料のカットなどに使用しているそれぞれのキャラクター、流域治水の申し子「ちっすい」(写真中)、滋賀の下水道を守る妖精「げっすい」(写真下)、琵琶湖を旅するさすらいの鮎「あゆむ」(写真上)を、スタンプ向けにアレンジした。いずれも県職員が作画した。スタンプは40個セットで120円。LINEのスタンプショップで「日本一のびわ湖を守る」当地キャラ大集合♪」のタイトルで販売している。収益金は全額をマザーレイクフォーラムへ寄付し、琵琶湖保全活動の支援に活用する。流域治水推進室の一伊達哲さんは「シロウトの手作りだが、琵琶湖を守ろうという思いを反映させたと、利用を呼びかけている。



き盆栽 鉢展示

鉢を展示。平成25年度の西濃さつき盆栽展で内閣総理大臣賞を受賞した作品をはじめ、赤と白の2色の花をつける文記重

げんこつあめ作り
浅井歴史民族資料館は



発行所
〒526-0031
滋賀県長浜市八幡東町245-5
滋賀夕刊新聞社
発行人 押谷洋司

本社
滋賀県長浜市八幡東町245-5
TEL(0749)62-2219代
FAX(0749)62-4483

彦根支局
滋賀県彦根市中央町7-41
TEL(0749)26-1888代
FAX(0749)26-1816

長浜・東浅井共通版
日刊(第2/4土曜・日曜・祝日休刊)
☒ news@shigayukan.com